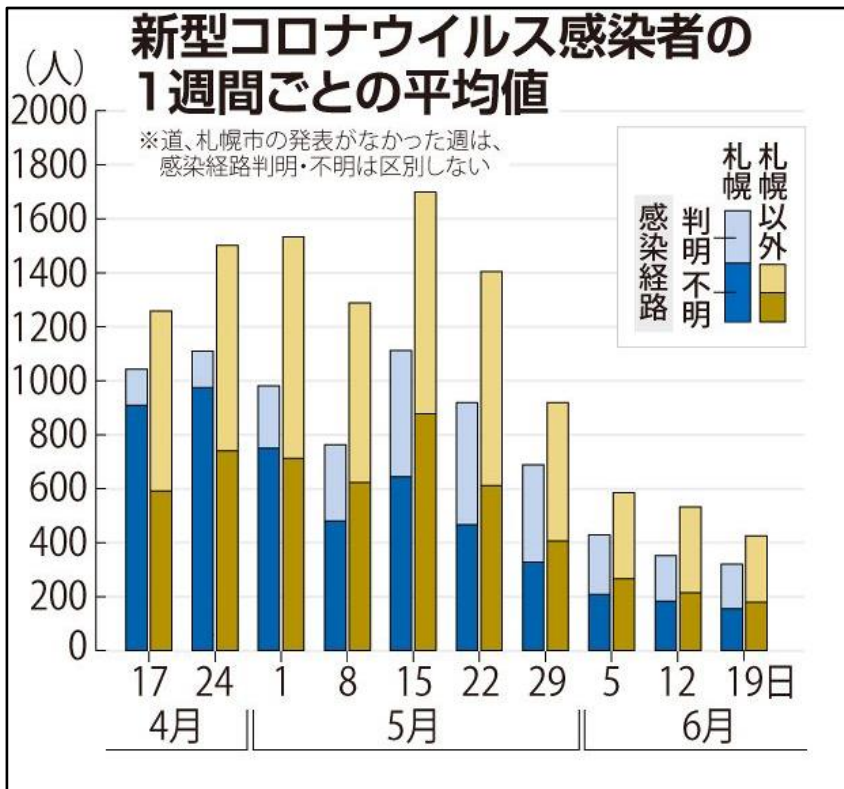


<横田教授の「コロナ」チェック>イベントで対策徹底 新規感染は減少傾向

2022/6/21 北海道新聞



全道の新型コロナウイルスの新規感染者数は、減少傾向が続いています。減り方は緩やかですが、大規模イベントの相次ぐ開催で懸念された感染再拡大も見られず、よい傾向と言えるでしょう。とはいえ、連日3桁の新規感染者が確認されています。引き続き油断せず、日々の感染対策を意識しましょう。

直近1週間（13日～19日）の新規感染者数の平均は、札幌が前週比9・0%減の320・1人、札幌以外が同20・2%減の424・7人でした。このうち市中感染の広

がりを示す感染経路不明者は、札幌で前週比14・9%減の155・7人、札幌以外は同16・4%減の179・3人です。

道内各地の傾向を見ると、前週に増加に転じていた旭川の新規感染者数が再び減少し、函館は減少ペースが速くなりました。5月に新規感染者数が大幅に増えた石狩、十勝両管内も順調に減少しています。

札幌市内では、5月中旬からさっぽろライラックまつりやYOSAKOIソーラン祭りなど、道内外から中心部に多くの人が集まるイベントが続々と開かれました。人の移動や会食などに伴う感染リスク上昇を危惧していましたが、今のところ感染再拡大の兆候はありません。参加者や来場者らが感染拡大防止の意識を持ち、対策を徹底できたことが大きな要因でしょう。

さまざまな催しが開かれ、これだけ人の移動が増えている中で、新規感染者数の増加を抑えられていることは大きなポイントです。

ただ、昨夏の感染「第5波」までのピークを上回る人数の新規感染者が日々出ていることを忘れてはいけません。第5波では、デルタ株の猛威に加え、家族や知人同士で過ごす時間が長くなる夏休み中に新規感染者数が大きく増えました。

連日数百人台の新規感染者が続く、社会的にはある程度「いつ感染してもおかしくない」として、新型コロナと付き合っていく傾向になりつつあります。それでも「もし感染しても自分からは拡大させない」という姿勢で、健康管理や感染防止対策を常に意識することが重要です。

（聞き手・加藤祐輔）